

「新しい形」

教務主任 中川 陽介

今年は例年になく早い梅雨明けとなり、6月の下旬から連日 30℃を超える真夏日が続いています。新潟県の今年の梅雨の期間はわずか 14 日間。平年よりも 25 日早い梅雨明けとなり、6 月中に梅雨が明けるのは統計開始以降初めてのことだそうです。向こう 1 ヶ月の予報によると 8 月も平年より、気温が高い日が多いようです。思いがけず早い真夏のスタートで熱中症の心配や農作物への影響、電力のひっ迫など様々なことが心配されます。

さて、今年度の学校もコロナ禍でのスタートとなりましたが、「できない」から「どのように行うか」という視点で「新しい形」を模索し、様々な工夫を凝らしながら日々の学習活動や行事等を行ってきました。中学部 3 年生、高等部 3 年生共に、予定通り無事に修学旅行を実施することができました。様々な体験や仲間と過ごす時間の中で、素敵な思い出をたくさんつくることができました。特に高等部は、3 年ぶりに隣県への修学旅行を実現することができました。これまでは全校行事だった運動会は、今年度から小中学部が運動会、高等部は体育祭としてそれぞれ分かれて行いました。また、高等部は小中学部の運動会の道具の準備等、運営面に携わるという「新しい形」へ挑戦しました。運動会後のアンケートでも多くの保護者の方から運動会と高等部生徒の取組への肯定的なご意見をたくさんいただきました。また、リモートでの活動が中心となっていた各学部の交流及び共同学習も少しずつ対面での活動を再開することができました。対面で活動することの良さを改めて実感しながらも、リモートの良さも生かし、対面とリモートの両方を取り入れながら行いました。高等部の授業でもリモートを活用して、外部の方から講師として指導をいただく機会と実際に校外学習に行き体験的に学習する機会を組み合わせ、両方の良さを取り入れた学習活動を行いました。当たり前のように対面での活動だけだったコロナ前に戻るのではなく、様々な場面で対面とリモート両方の良さを取り入れた「新しい形」がスタンダードになりつつあります。1 学期、子供たちは一人一人輝く姿をたくさん見せてくれました。2 学期以降も子供たちの生き生きとした姿をたくさん引き出し、より効果的な学習活動となるように「新しい形」を模索していきたいと思います。

明日からいよいよ夏休みです。今年は「新潟祭り」や「長岡花火」なども 3 年ぶりに開催されるようです。とはいえ、第 7 波として、感染の急拡大の恐れもあります。引き続き、感染症対策を講じながらの「新しい形」が必要です。皆さんも夏休みのこの機会に感染症、熱中症対策をしながら 3 年ぶりの〇〇を楽しんだり、挑戦したりできることを願っています。どうか充実した夏休みを過ごしてください。そして 9 月 1 日、始業式の日には元気に会いましょう！



1学期を振り返って ～各学部の様子を紹介します～

みんなで作ったよ！図工作品

小学部3組担任 内藤 恵子

今年度、小学部では学部を2つのグループに分けて、年間3回の特設の造形活動を行います。5月末から6月初めに、1回目の活動をしました。『しぜんであそぼう！』グループは、外に出て木、葉、松ぼっくりなどのアイテムを集め、集めたアイテムからイメージを膨らませ、食べ物や家に見立てたり、気に入った色や形を並べたりして作品にしました。また、集めたアイテムを持ち寄り、大きな紙をみんなで囲みながら共同作品を完成させて喜び合いました。『さわってみよう！かんじてみよう！』グループは、絵の具、砂、氷、寒天などの感触を日替わりで楽しみながら造形活動をしました。砂、絵の具を手や足にかけただけでなく全身で感じとったり、絵の具や色のついた氷の色が混ざる様子をよく見たりして、思い思いに楽しみながら作品にしました。

どちらのグループも最終日は、楽しかった活動を選んだり、発表したりして友達に伝え合い、活動を振り返りました。次の図工は12月を予定しています。

中学部夏祭り 大成功！

中学部2年担任 近藤 美里

中学部では、7月11日（月）に「中学部夏祭り」を行いました。「中学部みんなが楽しめること」をテーマに、6月から生活単元学習で企画・準備を行いました。

2年生は、お化け屋敷の企画をしました。曲がり角の回数に着目して、どんな道にしたら楽しいかを考えたり、お化けの顔や手をイメージした飾りを作ったりしました。また、金魚すくいをイメージして、お化け屋敷に持っていけるアイテムをすくう「アイテムすくい」のコーナーも作りました。怖いものが好きな友達も、苦手な友達も楽しめるように、「こわいものが増える」「友達と一緒にいける」などのアイテムを一人一人が考えました。

当日は、他学年の友達から「楽しかった！」「怖かった～」などの感想を言ってもらい、うれしそうな表情が見られました。一人一人が自分の役割を果たしながら、友達と協力して夏祭りを成功させることができました。2学期も、「みんなが楽しめる」ということキーワードに、友達とかかわりながら活動に取り組んでいきたいと思えます。

めざせ夢をもった社会人！

高等部1年担任 近藤 修平

高等部1年生は、女子6人、男子4人のクラスです。4月から一緒に学習したり、休み時間に楽しく遊んだりしながら絆を深めてきました。職業生活や社会生活などの新しい学習に期待感をもち、先生や先輩の話をよく聞いたり、積極的に活動に参加したりして高等部の生活を楽しむ姿が見られました。

1年生にとって初めてとなる「プレ社会人プロジェクト」では、すてきな社会人を目指して活動に取り組みました。準備期では、今の自分の生活を振り返ったり、高等部卒業後の生活をイメージしたりしながら、ドリームマップを作りました。そして、ドリームマップを基にして、「プレ社会人プロジェクト」実践期の目標を立てました。実践期では、模擬事業所の仕事に一生懸命取り組み、長い時間でも集中して仕事に取り組んだり、自分から報告や相談ができるようになったりするなど、成長した姿が多く見られました。今後も、卒業後の生活に向けた様々な学習が予定されています。「めざせ夢をもった社会人！」という学級目標に向かって、仲間と助け合いながら、様々なことに全力で取り組んでくれることを期待しています。

<小学部>



<中学部>



【中1 まとあて】



【中2 恐怖迷宮】



【中3 アルティメットランド】

<高等部>



☆いよいよ夏休み☆

1学期、保護者の皆様からは、当校の教育活動にご理解とご協力をたくさんいただき、本当にありがとうございました。明日から40日間の夏休みとなります。「新しい生活様式」の中ではありますが、夏だからできること、長い休みだからできることを大事にして過ごしていただきたいと思います。有意義な夏休みとなりますよう、職員一同、心より願っています。



みんな一緒に！思い出いっぱいの修学旅行！

中学部3年担任 古川 雄基・眞保 朋佳

中学部3年生は、6月2日～3日に修学旅行に行ってきました。「みんなで楽しい思い出を作ろう」をテーマに、燕市・十日町市を巡り、体験活動をしたり作品鑑賞をしたりしてきました。

1日目の燕市産業史料館では、燕のチタン加工技術でカラフルなアイススプーンを作ってきました。24種類の色から好きな色を選び、電流の強弱で酸化被膜の厚さ（色）を決め、色とりどりのスプーンを完成させました。中には、「虹色のグラデーションにしたい」と職員の方と一緒に電流を流す工程を繰り返し、制作に夢中になって取り組む姿も見られました。そして、絵本と木の実の美術館では、ヤギとのふれあい体験に参加しました。最初はどのよう接したらいいのかわからず、戸惑う様子も見られましたが、餌をあげたり、ブラッシングをしたり、少しずつ慣れていき、最後は別れを惜しむほど3匹のヤギと仲良くなることができました。

2日目は、十日町のおとぎの国美術館で手描き染めに挑戦し、ハンカチの柄に合わせて色付けをしてきました。筆の使い方や配色など、自分なりに工夫し、オリジナリティーあふれるハンカチを作ることができました。

その他にも、各施設や宿でおいしいご飯を食べたこと、バスの中でみんなのお気に入りの曲を聴いたことなど、修学旅行ならではの貴重な体験をみんなで思いっきり楽しむことができました。

